

歩み続ける研究学園地区

地図の概要

僕は今年研究学園に引っこしてきました。そこで、研究学園はどのように発展していったのか、また、この先どうなれば良い街になるか考え、地図にしてみました。この地図は下から順に以下のような構成にしています。

- (1) 2001年頃(僕が生まれた頃)
- (2) 2014年現在(僕が小学生)
- (3) 僕の未来構想(僕が大人になった頃)

作成するにあたり、国土地理院・市役所・図書館での説明や資料を参考にしました。未来構想はつくばの利点を生かし、あったらいいなと思うものも考えました。

- <例>
- 芝発電所
つくば市は芝の生産量が日本一です。その芝をエネルギーに変えて発電できれば「人にやさしい町づくり」になると思いました。
 - 宇宙エレベーター
つくば市の特性を生かし、だれでも宇宙旅行ができてほしいなと思い、考えました。

(1) 何もなかった研究学園

2001年頃(今から13年前)の研究学園は、今とはだいぶちがっていました。建物がほとんど建っておらず、周囲を見回しても今どこにいるのかわからないような開発途中の土地でした。

研究学園 駅から北西を撮影(2005)



(2) 大きく発展、副都心へ

しかし、その後研究学園地区はどんどん発展していきました。今ではつくば市副都心と呼ばれるようになりました。市役所の移転、複合施設や大型店舗の建設などもあり人口も増えています。まだ空いている土地もあるのでそこをどう活用するか、未来へのカギとなっています。

上と同じ場所を撮影(2014)



(3) 住みたい街へ

発展著しい研究学園ですが、課題点もあります。福祉や交通網をより充実させ、科学・教育・国際面に優れていることを生かし、子供からお年寄り、障害者や外国人も皆が安心して暮らせる町づくりが必要で、そして「ここに住みたい!」という人が増えてくる研究学園土産区になるように僕も協力していきたいと思っています。

